

自主通学 観察支援報告書

()号車 部 年 組 児童生徒氏名()

1 利用交通機関・区間

利用交通機関()	区間()
-----------	-------

2 観察支援項目の(確認できた項目◎、達成可能と思われる項目○、未達成項目△。保護者①は練習開始時の様子、保護者②は練習の第2段階終了後の様子を記入。)

区分	観察支援項目	確認欄		
		保護者①	保護者②	教員
道路の歩行・走行	歩道内を落ち着いて歩行する。			
	他の歩行者や自転車に迷惑をかけずに歩行する。			
	壁の切れ目から出てくる車に注意して歩行する。			
	歩道の無い道路は、原則、道路の右端を歩行する。			
	不意の危険を回避し、身の安全を守る。			
道路の横断	歩行者ボタンの意味が分かり横断する。			
	信号の意味が分かり、周囲の状況を確認してから横断する。			
	信号の無い道路では、前後左右を確認してから横断する。			
危機管理	通学路の要注意箇所を把握している。			
	子ども110番の家等、避難場所の表示や所在地が分かる。			
	子ども110番の家等、避難場所の利用の仕方が分かる。			
	緊急時の対処法が分かる。(携帯電話をかける・公衆電話をかける・メモなどで近くの人に支援を求める・助けを呼ぶ・近くの店に逃げ込む・その他())			
雨の日の対応	他人に迷惑をかけずに歩行する。			
	周囲が見えるように傘をさして歩行する。			
自転車の利用	道路の左端を走行する。			
	交差点で2段階右折して横断する。			
	ヘルメットを着用して走行する。			
	バランスを崩さず安定して走行する。			
	雨具を着て安全に走行する。			

3 報告

＜保護者からの様子＞ 記入日： 年 月 日 ※保護者②へ記入と同時に記入する。

教員見極め() 見極め日： 年 月 日

＜部主事所見＞